

参院選

野党共闘

共闘「足し算」以上(「毎日」)
巨大与党に対抗するには野党共闘が最も有効(「朝日」)
1人区共闘で相乗効果(「産経」)

日本の政治に新たな一歩

7月の参院選は、戦争法廃止、憲法を守る政治をとり戻すという大義で、野党と市民が力をあわせました。この試みは大きく成功し、東京都知事選でも野党と市民の共同の枠組みが発展。「政治は変えられる」という希望を広げています。

お母さんたちが自然発生的に集まり、シールズのように学生もマイクを持って街頭から訴える、各地で「勝手連」が応援グッズをつくり、SNSで発信する——野党と市民が肩を並べてたたかい、新たな連帯と信頼の絆がつくられました。

野党と市民の共闘の発展



アベ政治を許さないとアピール(8月3日、国会正門前)

1人区での野党の勝利

2013年 2
岩手、沖縄



2016年 11
青森、岩手、宮城、山形、福島、山梨、長野、新潟、三重、大分、沖縄



東北では「政治の光が陰り、しほむ人々の暮らし。野党共闘が花開く土壌は、東北各地に広がっていた」(「河北新報」)

沖縄では「審判は下った。辺野古問題の分水嶺となる決定的な選挙結果である」(「沖縄タイムス」)

全国32の1人区すべてで野党統一候補を実現し、11選挙区で激戦を制しました。福島県、沖縄県では自民党の現職閣僚を破りました。

野党統一は11議席



初登院する当選した日本共産党の6議員(8月1日、国会)

日本共産党は改選3議席から6議席へ倍増。比例代表の得票601万票は史上2番目。党国會議員団は35議席へ前進、発言時間回数も大幅増となりました。

野党共闘さらに伸ばし

安倍改憲・暴走政治ストップ

TPP批准するな 原発再稼働・新增設ノー

選挙中は大事なことを語らず、選挙が終われば手のひらをかえしたように暴走を始める——こんな「だまし討ち」の政治は許せません。

日本共産党は、参院選後に生まれた新たな条件と可能性をいかし、政治を変えるためにさらにがんばります。

憲法

改憲発議できる2/3を衆参で自民・公明・維新などが占めましたが、国民は白紙委任したわけではありません。改憲への暴走を始めるなど、認められません。

沖縄米軍基地

選挙が終わったとたん、高江(沖縄県東村)の米軍ヘリパッド建設を法令を無視してまで強行する、沖縄県との話し合いを拒否して県を提訴する——こんな強権は言語道断です。

アベノミクス

リニア中央新幹線など巨大事業を「借金」頼みで推進、残業代ゼロ法案の成立、要介護1・2を介護保険から締め出す——くらしも財政もさらに悪化させるだけです。



2016年8・9月号外
1952年5月30日第三種郵便物認可

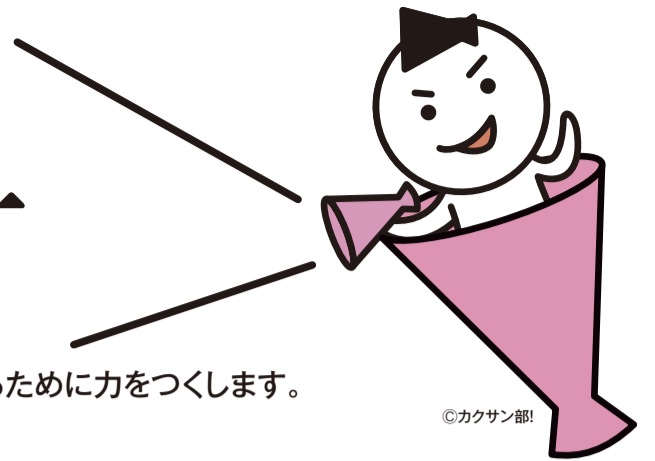
日本共産党の見解を紹介します。
あなたのご意見、ご感想をおよせください。

発行●日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111(代表) FAX.03-5474-8358
ホームページアドレス <http://www.jcp.or.jp>

日本共産党

党をつかって94年を迎えました

日本共産党 です



©カクサン部!

7月15日、日本共産党は創立94年を迎えました。

創立以来つらぬいてきた姿勢をこれからもいかし、安倍政権の暴走阻止、暮らしを守るために力をつくします。

憲法9条で平和をつくる

反戦・平和の党として戦争する国づくりを許さない

戦争か平和かをめぐる岐路のいま、日本共産党は改憲ノ一、戦争法廃止への確かな力です。

それは戦前から侵略戦争に命がけで反対し、たたかい続けた歴史に裏打ちされています。

「憲法を守る」&「国民の命を守る」

日本共産党は、憲法9条にてらせば自衛隊は憲法違反の存在だと考えています。改憲派のように自衛隊の現実にあわせて9条をなくすのではなく、9条の完全実施に向かって自衛隊の現実を改革していく立場です。これはすぐにはできません。国民の大多数が「自衛隊がなくても安心」となったところで本格的にとりくむ仕事です。

それまでの間、万一、急迫不正の主権侵害や大規模災害などがあれば、自衛隊を含めあらゆる手段で国民の命を守ることは当然です。

自衛隊員を海外の戦地に送らない

今、問われているのは、自衛隊が違憲か合憲かではありません。被災地で救援・復旧に汗をながした自衛隊員たちを、安保法で海外の「殺し、殺される」戦場におくっていいのか、です。

「こんなことは許せない」——この1点で他の野党、市民と共同しています。



困っているをほっとかない

「国民の苦難軽減」を立党の精神として

無料生活相談活動はもちろんのこと、「返済不要の奨学金」「国保税の引き下げ」「子ども医療費助成の充実」「保育や介護の待機ゼロ」など、国民の苦難軽減の立場でとりこんでいます。

この党の地方議員が増えれば、暮らしを守る大きな力になります。

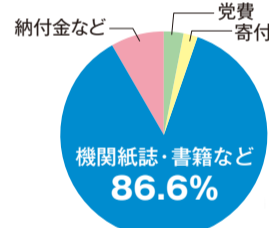


熊本県の浦島知事(右)に義援金を手渡す日本共産党の志位委員長(その左) (5月7日、熊本県庁)。

党の財政も国民が主人公

企業・団体献金も政党助成金も受け取らない

収入の内訳(2014年度)
224億7729万円



自民党は政党助成金158億円(収入の67.4%)を受け取る。



日本共産党は政治資金を党費、「しんぶん赤旗」などの事業収入、個人からの募金などでまかなっています(グラフ)。

これが、「国民の立場」で提案し、行動する源になっています。

国民が主人公の日本へ

連合政権を追求して

一致点で一步一步、国民とともに

▶ 政治を変えていくうえでは、大事なことから1つ1つ、国民の合意を得て実行する。

▶ めざす政権は、将来にわたって一党独裁でも単独政権でもない連合政権。

これが日本共産党の綱領の立場です。こうした内容を盛り込んだ確認書(下記)が、参院香川選挙区で日本共産党と民進党の間でかわされ、日本共産党公認候補が野党統一候補として健闘しました。

参院香川選挙区で日本共産党香川県委員会と民進党香川県総支部連合の代表の間でかわされた確認書

- (1) 今日の日本社会に必要なのは社会主義的変革ではなく、資本主義の枠内での民主的改革であり、私有財産の保障が基本となる。
- (2) 平和外交を重視するが、日米安保条約の廃棄や自衛隊の解消という共産党の政策は野党共闘に持ち込まない。
- (3) 天皇制を含めた現行憲法の全条項を守る。天皇制のあり方は、国民の総意によって決せられるものである。
- (4) 一党独裁制を否定し、議会制民主主義及び選挙による政権交代制を堅持する。
- (5) 地方自治の確立、労働基本権の擁護、男女平等、信教の自由及び政教分離原則の徹底を図る。



しんぶん赤旗
日刊●3,497円 日曜版●823円

お申し込みはお近くの党事務所
または党員が下記の住所まで
日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111(代表)
FAX.03-5474-8358

購読申込書

おなまえ	おところ 〒
電話 ()	○をつけてください。 日刊●3,497円 日曜版●823円

日本共産党の活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。もよりの党事務所か、お知り合いの党員にご連絡いただくか、右記へお送りください。郵便振替●日本共産党中央委員会 00170-7-98422